

2022年11月10日

課題名：腹腔鏡下肝切除術における局所止血剤の使用成績の検討

◆研究の目的と概要◆

今日では腹腔鏡下肝切除術は平均出血量が多い手術ではなくなりましたが、背景肝の状態や切除部位によっては術中、術後の出血のリスクが依然として高い状況です。本研究では、肝切除術中に使用する局所止血剤毎の短期成績を明らかにすることを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2021年1月から、2022年7月までの間に、腹腔鏡下肝切除術を施行した方。

◆研究に使用される情報・試料◆

性別、年齢、原疾患、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、前治療を患者さんの背景因子として使用します。手術時間や出血量、輸血の有無と言った手術に関連するデータ、手術ビデオによる術中所見（肝十二指腸間膜阻血解除から肝切離再開までの時間）、血液検査所見（AST、ALT、CRP、PT、Plt、Alb、TBil）、術後の経過、退院までの日数、術後CT所見（肝切離面液体貯留の厚さ）。

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録、手術ビデオからの情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
外科 研究責任者 武藤 純

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明